

創立145周年



学校だより  
は南風の子

中種子町立  
南界小学校  
平成31年3月18日

卒業・修了 おめでとうございます

校長 吉留 巧

平成31年3月22日（金）4名の子どもたちが南界小学校を卒業していきます。今年の卒業生は、岩崎暉児さん・提美乃里さん・園田もみさん・武舞羽さんの男子1名女子3名です。卒業生・保護者の皆様にご心からお祝い申し上げますとともに、この6年間この子たちに支援や指導をしていただいた地域の皆様に厚く御礼申し上げます。



4人の卒業生

南界小で学んだ6年間で忘れずに、中学校に進学し、これからの自分の「夢」に向かって、一步一步努力を重ねて、夢を実現していくことを期待します。

1年生から5年生は、25日（月）が修了式です。この1年を振り返り、自分の成長に自信をもつとともに次の学年への新しいスタートを切ってほしいと思います。

さて、この1年を振り返ると、毎日の学習・各学校行事や地域行事・少年団活動等、子どもたちは様々な出来事がありました。一日一日を子どもたちなりに精一杯過ごしました。人生は山あり谷あり、長い人生には辛いことや悲しいこと、苦しいことが誰にでもやってきます。人はこのような試練を乗り越えるたびにたくましさを増し、生きる力を身に付け、自己実現に向けて成長していくのでしょうか。「鉄は熱いうちに打て」「楽は苦の種、苦は楽の種」ということわざもあります。やはり、小中学校期は我慢する力や忍耐力を蓄えることも必要であるとも言えます。

では、親や周りの大人はどのように子どもに関わっていけば行けばよいのでしょうか。

マズローの欲求5段階説



左の図は、アメリカの心理学者マズローが「人間は自己実現に向けて絶えず成長する生き物である」と仮定し、人間の欲求を5段階の階層で理論化したものです。

三角形の底辺から頂点に向けてより高次の欲求となり、これらの欲求が満たされないと、人は不安や緊張を感じるそうです。

まず、食事や睡眠、排泄など生きていくために必要な欲求が満たされること。そして、健康で安全な生活を送る環境であること。家族・友だち、学校・会社等自分の存在が認められ、自信をもてること。このような欲求が満たされることで、子どもは安心して毎日を過ごし、自尊感情や自己肯定感を高めていきます。基本は子どもを「ほめること」「認めること」です。

南界小の子どもたちは保護者だけでなく地域の方々からも温かく見守られ、励まされ、助けていただきながらすくすくと成長しています。これからも自己実現に必要な生きる力を育てるために、皆様の御支援をよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、平成30年度の本校の教育活動への御協力に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。